

OB通信

鳳 翩

復刊第6号

= 2010年8月 =

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会

鳳翩会

目次

はじめに-----	1
本部・支部連絡先-----	2
総会案内文-----	3
第1章 OB会員の皆様へ	
1 お知らせ-----	5
2 2009年会計報告-----	5
3 OB会費納入について-----	6
4 入会、脱会について-----	6
第2章 会員近況・活動報告	
1 近況報告 OB総会 ウェルカム TO 東京-----	7
2 近場の小トリップ近畿ローカル鉄道の旅-----	9
3 鳳翔会(YUWV OB会)山口支部設立記念ハイキング(H22.5.15～16)に参加して----	10
4 近況報告-----	13
第3章 現役活動報告	
1 執行部活動報告(本学)-----	16
2 執行部活動報告(工学部)-----	17
3 春合宿結果報告-----	17
4 2010年度 第46回県内合同ワンデリング結果報告-----	17
5 夏合宿紹介-----	18
6 アフター紹介-----	18
第4章 その他	
1 Y.U.W.V.ホームページ-----	20
*カラー版はホームページに掲載しています。	
2 編集後記-----	20

はじめに

OB会会長 山本 充二

近頃の山は…この七月、会員のU君と久しぶりに本格的な三泊四日の山旅。自称“晴れ男”二人の面目躍如で、丁度山入り日に梅雨が明け、下界の酷暑などつゆ知らぬ八ヶ岳縦走は、本邦最高所(?)の露天風呂や信玄の隠し湯にどっぷり浸かる温泉三昧でもありました。一年前、この欄に「山は中高年花盛り」と書きましたが、今回はどうも様子が違いました。若い男女のほうが目立ち、山小屋の食事時の雰囲気も華やか。中央アルプスでは老人クラブの宴会の如きでしたが、山系に依るのでしょうか。

山小屋に着いて目を見張りました、若い女性たちが、小屋の前で一斉に歯磨きしているのではないですか。これも山ガールのスタイルでしょうか？

そして今回も老若問わず多く見かけたのが、ストックの使用です。愛用者によれば、これがあればずいぶん楽に歩けるそうです。でも、岩や木を両手で掴みながら上り下りする時には邪魔になるし、三点確保が出来なくなる。ザックに付ければ、その突起が予期せず岩・木に当たって転落ということにもなりかねない…と要らぬ心配をしていたら、NHKの「ためしてガッテン」でも注意喚起をしていました。

ちなみに、同放送では、疲れずに山登りが出来る秘策も紹介しています。体力の衰えを痛感されているOB会員諸氏、一度Webサイトを覗かれてはどうでしょうか。

さて、2010年OB総会・懇親会は、東京支部の引き受けで、別紙「ご案内」のとおり、10月23日(土)17時30分から東京都立川市で開催されます。総会当日・翌日にも、近郊の登山・散策 やビール工場見学など、ご都合に合わせたエンジョイプランで、皆さんをお待ちしています。OB同士お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

出欠連絡のハガキを同封していますので、9月6日(月)までにご返信ください。

各支部の体制・連絡先がすべて整いました(次ページ参照)。ご活用ください。

懇案の新入部員の確保ですが、今春6名が入部しました。しかし、工学部はゼロで、このままでは来春“廃部”という大ピンチとなっております。現在、一年生部員を通じ、友人の勧誘に努めておりますが、お知恵をお貸してください。

== 本部・支部連絡先 ==

(本部)

OB会会長

山本 充二
(経・47卒)

OB会副会長

田村 伊正
(工・53卒)

OB会事務局長

清水 彬行

東京支部

支部長 城戸 賢嗣 (経・49卒)

事務局長 宮原 龍作 (経・50卒)

関西支部

支部長 池田 純 (工・51卒)

山口支部

支部長 池富士 清 (農・47卒)

九州支部

名誉支部長 永沼 嗣朗 (経・39卒)

支部長 武富 敏夫 (経・45卒)

事務局長 龍 純二 (文理・50卒)

山口大学ワンダーフォーゲル部 OB 会会員 各位

2010 年 8 月吉日

OB 会 東京支部長 城戸賢嗣

2010 年度 OB 総会開催のご案内

拝啓 盛夏の候 OB 会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年末の開催予告通り、2010 年度の OB 総会は東京支部の担当で開催します。
世界一登山者の多い山“高尾山”登山等をエンジョイプランとしてご用意しています。
ご参加の程 よろしく願いいたします。

敬具

※出欠連絡 同封のはがきを 9 月 6 日(月)までにお出し下さい。

記

1. 開催日時 2010 年 10 月 23 日(土)～24 日(日)
受付開始 17:00 総会 17:30～18:30 懇親会 19:00～21:00
2. 開催場所 「ザ・クレストホテル立川」
(総会・懇親会・宿泊) 東京都立川市錦町 1-12-1 TEL042-521-1111
3. 参加費 @16,000 (ホテル一泊朝食付き+懇親会費含む)
* 宿泊は 2 人部屋・3 人部屋の利用 * 宿泊なしの場合@8,000
* 宿泊については、10 月 11 日以降キャンセル料が発生しますので
変更の際は 10 月 10 日までにご連絡下さい。
4. エンジョイプラン 10 月 23 日(土) * 昼食を済まして集合下さい
A プラン(高尾山登山)
京王線高尾山口 改札前集合 12:30 高尾山山頂 14:00
京王線高尾山口 16:18 発 立川駅 16:47 着 ホテル着 17:00
B プラン(サントリー武蔵野ビール工場見学) “ザ・プレミアム・モルツ試飲”
ホテル集合 13:30 立川駅 13:59 発 見学 15:00～16:00
分倍河原 16:35 発 立川駅 16:45 着 ホテル着 17:00
10 月 24 日(日)
C プラン(高尾山登山)
ホテル集合 08:30 立川駅 8:45 発 京王線高尾山口 9:14 着
高尾山山頂 10:45 京王線高尾山口 12:45 着
(京王線高尾山口 13:08 発 新宿・品川経由羽田空港 14:53 着)
D プラン(御岳散策)
ホテル集合 08:30 立川駅 8:47 発 御嶽 09:36 着
御岳山頂 11:00 日の出山 11:50 御嶽 13:22 着
(JR 御嶽 13:33 発 青梅・立川・品川経由羽田空港 15:53 着)
5. 連絡先 東京支部長 城戸賢嗣
東京事務局 宮原龍作

6. 参考

ザ・クレストホテル立川 (帝国ホテルグループ)

東京都立川市錦町 1-12-1

TEL042-521-1111 <http://www.cresthotel.co.jp>

JR「立川駅」南口より徒歩 7 分 JR「西国立駅」より徒歩 8 分

エンジョイプラン

10 月 23 日、10 月 24 日

A・C プラン (高尾山登山)

- ① 往 6 号路コース (山頂近くまで沢沿いのコースです。途中、弘法大師の伝説もある
岩屋大師の洞窟や水行道場のびわ滝があり、変化に富んだコースです)

所要時間：90 分

- ② 復 1 号路コース (高尾山を訪れる人にもっとも利用されている表参道コースです)

所要時間：90 分

10 月 23 日

B プラン (サントリー武蔵野ビール工場見学)

ザ・クレストホテル立川に集合。荷物をホテルに置いて出発。

立川駅まで徒歩 7 分。立川駅から JR を利用し分倍河原へ。

分倍河原から工場までは無料のシャトルバス利用。

工場見学 40 分。ゲストルームで生ビール試飲 20 分。小さなワンパックのつまみ付。

工場から分倍河原まで行き同様無料のシャトルバス利用。

10 月 24 日

D プラン (御岳散策)

JR 御嶽駅前からバスに乗車し多摩バスケーブル下へ (約 10 分@270)。

御岳登山鉄道ケーブルカーで御岳山駅まで (約 7 分@570)。

御岳山と日の出山を往復 (約 50 分 * 2 = 100 分)

御岳山からは、行き同様ケーブルカー、バスを利用し御嶽駅へ

アクセス (おおよその所要時間)

	京王線高尾山口駅	立川駅	分倍河原駅	日向和田駅
羽田空港	105 分	80 分	80 分	130 分
東京駅	70 分	45 分	45 分	90 分

以上

第1章

OB 会員の皆様へ

1 お知らせ

会費未納の場合は自然脱会となっております。会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

納入状況につきましては、2010 年が未納の方と、2010 年まで納入の方のみ、振込みをお願いする紙を同封しております。

2 2009 年会計報告

2009 年内での収入、支出はつぎのようになっています。

(Web 版削除)

3 OB 会費納入について

2010 年分 OB 会費を納入されていない方はお手数ですが、郵便振込にて下記へ納入して下さいようお願い申し上げます。なお、2009 年分 OB 会費が未納の方は自然脱会となっております。

口座記号番号 01530-0-16050

加入者名 山口大学ワンダーフォーゲル部

個人会員年会費 2000 円

夫婦会員年会費 3000 円

会費納入は上記の倍数でお支払い下さいますようお願い申し上げます。

4 入会、脱会について

初めて入会される方、再度入会される方は会費振込を意思表示とさせて頂いておりますので、お手数ですが、前記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。会費未納の場合は、自然脱会となりますので、会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

事務局より

第2章

会員近況・活動報告

1 近況報告 OB 総会 ウエルカム T0 東京

東京支部 S53年卒 秋山高弘

皆さん お元気ですか。

東京支部では、今年秋のOB総会に向けて準備を開始しています。

以下、日記風にご紹介します。

12月12日(土) 忘年会 (かなえ 銀座店)

年末恒例となった忘年会、今年は16名が参加。大いに盛り上がる。

本忘年会の中で次期総会に向けての話し合いが行われた。

- ・ 10月3・4日に京都で行われた総会の様子と次回総会が東京担当である旨の報告あり
- ・ 城戸支部長、宮原事務局長のご尽力で次回東京OB総会の概要案が提示され、満場一致で賛成

(総会案)

- ①全国のOB・OG諸氏の希望の多い、高尾山散策をメインに据える
- ②近くに適当な宿泊施設が無いので、立川のホテルを利用した開催とする
- ③その他、ビール工場見学プラン、翌日の御岳散策プランを準備する

4月16日(金) キックオフ打合せ兼懇親会 (京町家 飯田橋店)

初回顔合せ。打合せを効率良く済ませ、大宴会に突入。

(城戸支部長、宮原事務局長、松永前支部長、高田、真島、秋山)

- ・ 秋のOB総会の内容確認
- ・ 各イベントの下見の日程及び担当者決定

A: 高尾山 5月23日(日) 担当 城戸、真島

B: サントリー武蔵野工場 6月12日(土) 担当 宮原、秋山

C: 御岳 7月24日(土) 担当 高田

5月23日(土) 高尾山登山 【天気 雨】 参加者12名

(城戸、宮原、松永、熊谷、三浦、村上、小田、木村、銭広、弓削、真島、秋山)

生憎の雨、頂上に雨をしのげる所がないとのことで、いきなり登山口駅で弁当を

広げる。

6号路（谷詰めの道）を通り、休憩1本で山頂へ。所要時間1時間15分。雨に煙る景色ながら、夏はビヤガーデンも出て東京の夜景が素晴らしいとのこと。また、高尾山はケーブルカーを利用した楽チンコースなど様々なルートがあることも確認できた。

記念撮影後、直ちに下山開始。下りは1号路（舗装道路）。秋のOB総会の時は、紅葉はまだ早いかななどと考えながらひたすら下る。そのまま名物「とろろそば」の茶屋に飛び込み、またしても大宴会突入。

危うく下見という目的を見失ってしまうところだった！！

6月12日（土）サントリービール武蔵野工場見学 【天気 晴れ】参加者9名

（城戸、宮原、小田、木村、木村夫人、高津、三浦、守沖、秋山）

ご存知、松任谷由美の曲「中央フリーウェイ」でおなじみのサントリー武蔵野工場。

♪♪中央フリーウェイ、右に見える競馬場、**左はビール工場**、

この道はまるで滑走路 夜空に続く～♪♪

足取り軽く、シャトルバスにて工場到着。ここは関東に出荷する「プレミアムモルツ」を製造しているところ。アロマホップとは何ぞや？などと美しいお嬢さんの説明を聞き終えたら、お待ちかねの大試飲会突入。と言っても一人3杯の制限ありということで、足りませんよね。帰り道、駅前の焼き鳥屋さんで、二次会突入（もちろんビールはプレミアムモルツ生）でした。

7月24日（土）御岳（みたけ）登山 【天気 快晴・猛暑】参加者11名

（高田、恵谷、木村、木村夫人、高津、原、真島、三浦、村上、守沖、弓削）

JR 青梅線御嶽駅からバス（10分）とケーブルカー（7分）を乗り継ぎあつという間に御嶽神社のある御岳山（929m）に到着。（駅から歩くと2時間ほどかかる）山頂付近には7月下旬から5万株のレンゲショウマが群生するということで楽しみにしていたが、開花はまだまだであった。紫色の丸っこい花が9月上旬まで咲き誇るそうである。

御嶽神社は関東有数の霊場で、ここから樹齢1000年の神代ケヤキを見て少し下った長尾平で弁当を広げた。木村夫妻は大展望売店でお食事、ビールも少ししたしなまれたらしい。13時に出発し、休憩を1回取り50分で日の出山（902m）へ到着。眺望は素晴らしい。空がゴロゴロ鳴り出したので早々に下山開始。途中少しパラついたがまた夏の日差しが戻り黙々と下った。休憩をとりながら吉野梅郷の脇を通り約2時間でJR日向和田駅前に到着した。乾いたのどを潤すにはビールしかない、駅近くのそばや（梅林亭）に飛び込んだ。1時間弱で店の生ビールは底をついてしまった。店主から春の吉野梅郷にぜひ来て下さいと勧められ、約束した

人もいた。

今回は下りばかりのコースであったが、御嶽神社の南側に景色の良い滝やロックガーデンという散策コースがあるのでこちらを選択しても良いと思われた。

.....
こうして見返すと、なんだか飲んでばかりだなあという気もしますが、いよいよこれから本番に向けての準備を加速させていくことになります。

東京支部 一同、皆さんに楽しんでもらえる総会とすべく頑張りますので、是非お越しく下さい。お待ちしております。

2 近場の小トリップ近畿ローカル鉄道の旅

関西地区鳳翔会

池田 純



写真は、依藤太のムカデ退治で有名な近江富士（三上山）432m（筆者の職場から撮影）
京都の比叡山から琵琶湖を挟んでよく見える山です。

（本文と関係ありません）

またも、原稿を書く機会をいただいたので徒然なるままに文章を綴ります。この年になり（あと数年で還暦なのだ）思うことは若い時の行動パターンをずーっと引きずるようです。

たとえば意地汚く大飯ぐらいなのは、ワングルやっていたからか、やたらと出歩くのもそうなのだろう。さすがに最近の高い山に行かなくなったが出張とかで初めて訪問する土地に行く場合はいまだにわくわくしてしまうし、18きっぷが手に入ればひたすら乗りつぶす。ちょっと最近の事例紹介いたします。今月（7月）仕事で三重県の桑名行きを命ぜられ

だが、予定を見ると仕事は昼からだ。しめたとばかりに最寄りの駅を早めに出発。普通は出張の場合新幹線を使うのだがあえて在来線それもローカルな草津線、関西本線を乗り継いだ。余談ですがこの草津線なんと 120 年の歴史があり、そのレンガ造りの鉄道構造物（まんぼというらしい）を見ているだけでも楽しい。電車は鈴鹿山脈を迂回するように柘植で接続 2 両編成のディーゼルに乗り換え、最近液晶テレビ工場で有名な亀山をめざす。この亀山までの加太越えは、SL 時代は難所で途中の信号所は有名なスイッチバックがあるが、最近機能してないようだ。亀山で電車に乗り換える。単線なのでなかなか進まない。桑名に着くが仕事まで 2 時間ぐらい暇がある。そこで前から乗って見たかった三岐鉄道にぶらっと乗車してみた。三岐鉄道は以前乗ったことのある四日市から分岐している近鉄八王子線と同じく線路の幅が小さいいわゆるナローと呼ばれる電車でもとても狭い、速度は 40km ぐらいか。今時珍しく非冷房で開け放たれた窓から田んぼをよぎるむっとした風が入ってくる。ついつい終点まで一時間近く乗ってしまう。終点の阿下喜まで乗って帰りの時間を見ると 45 分待ち、これは少しやばい約束の時間に遅れるかもタクシーも覚悟しましたが、幸い桑名へ戻るバスが、すぐに出るとのこと。無事に桑名へ戻り用事を済ませ、あとは帰るだけだが簡単には帰らない。いつもの楽しみ駅食堂でラーメンを食べながらちよっと一杯。帰りは接続が悪く途中の亀山で一時間待ちのため途中下車。この亀山と隣の関は旧東海道の宿場町で訪れる人も多いが今は夕刻でローカル駅とのことで閑散としている。ぶらぶらと歩き近所のスーパーで助六とビールロング缶を求め今度は 1 両のディーゼルに乗る。クラブ活動帰りの高校生が多数乗車、視線を気にせず先ほどのビールをいただく。上りこう配をエンジン音を響かせ先ほどの中在家信号所を駆け上がる。ふと横を見ると鹿が伴走してくる。この鈴鹿山系は、まだまだ自然が豊富で鹿、狸、猿の類はよく見かける。今日のように伴走してくるだけならまだしも時々はねられて、電車を遅らせてしまうことも多々あるようだ。すでに駅員が帰宅し無人となった最寄りの駅を下車し、徒歩にて家路へ急ぐ。10 年ぐらい前ならこの季節よく見かけたホテルもめっきり見なくなった。などと思いつつ家に着く。交通費会社持ちの小旅行の報告でした。

以上

3 鳳翺会 (YUWV OB 会) 山口支部設立記念ハイキング (H22.5.15~16) に参加して

山口支部 S55卒 三國 彰

鳳翺会山口支部の設立は、前号でお知らせしたところですが、新緑もまぶしい 5 月に、支部活動の一環として、また、来年の鳳翺会総会引き受けに向けた結束力強化をねらい、支部設立記念「吾妻・比婆連山ハイキング」を実施しました。今回のコース設定、宿泊予約等については、広島県在住会員の参加も期待しながら山本会長の企画により準備が整ったわけですが、残念ながら、山口支部会員のみの参加でした。

当日の様子を、本ハイキングの記録係に抜擢(?)された三國の方から報告します。

天気予報では終日雨だったのですが、予報はずれ、すばらしい天気にも恵まれたのは、たいへんラッキーでした。自家用車で山口市を6：00に出発し（中国自動車道経由）吾妻山ロッジに9：20に到着。軽く運動して、吾妻山ロッジを9：35に出発。

原池から正面に吾妻山を確認しながら、丘に登り、尾根沿いに頂上に向いました。（写真1）途中尾根筋で休憩。頂上が近づくと眼下に広い池の原、原池、キャンプ場などが展望できました。（写真2）



写真1 吾妻山へ向かう

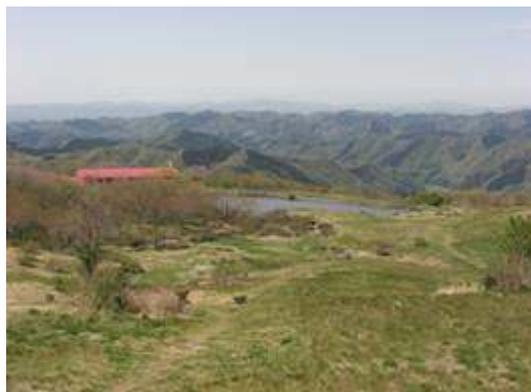


写真2 尾根筋より池の原を望む

駐車場から45分ほどで吾妻山頂上に到着。頂上には古い方位盤が設置されていました。ここまでは、まさにハイキングといった方がいいかもしれません。簡単に登れる割には展望が素晴らしく、「労少なくして功多し」の山という感じがしました。ここで休憩し、最高の気分となったところで、全員のスナップ写真をとることにしました。（写真3）

（夫婦参加もあり、ツーショットの写真も何枚か：大サービス）



写真3 吾妻山山頂にて



写真4 吾妻山山頂から大山を望む

吾妻山をくだっていくと約30分で大膳原に着きました。（大膳原：吾妻山と烏帽子山との

参加メンバーおよびコースタイムは以下のとおりです。

(参加メンバー)

末国 (S 4 0 卒)、安村 (S 4 0 卒)、奥様、木山 (S 4 2 卒)、平原 (S 4 2 卒)、山本 (S 4 7 卒)、奥様、池富士 (S 4 7 卒)、奥様、八谷 (H 5 4 卒)、三國 (記録係 ; H 5 5 卒)

(日 程)

5月15日(土)

山口市発	6:00		御陵比婆山山頂	発	12:55
		(中国自動車道経由)			(天然記念物ブナ純林内コース経由)
休暇村「吾妻山ロッジ」	着	9:20	烏帽子山山頂直下	着	13:50
〃	発	9:35	〃	発	14:00
吾妻山山頂	着	10:25	大膳腹	着	14:20
〃	発	10:35	〃	発	14:30
大膳原	着	11:05	南の原分岐	着	15:10
〃	発	11:15	〃	発	15:20
烏帽子山山頂	着	11:45	休暇村「吾妻山ロッジ」	着	15:40
		(昼食、休憩)			(生ビールで乾杯)
〃	発	12:30			
御陵比婆山山頂	着	12:50			

5月16日(日)

休暇村「吾妻山ロッジ」	発	8:30
国営備北丘陵公園	着	9:20
		(散策・昼食)
解散		12:30

4 近況報告

第24期 (S60年度卒) 天野雅紀

山口大学ワンダーフォーゲル部OBのみなさん。お元気にご活躍でしょうか？第24期の天野です。福岡支部の先輩から近況報告を頼まれましたが、最近は山にも行っていませんし、ネタに乏しいので気の向くままに書いてみます。

私は現在故郷の福岡に住んでおります。まずは福岡(博多)の良さをご紹介します。

福岡は大陸への玄関口として発展してきた街です。現在も韓国(プサン)へは高速船で約3時間、中国(上海)へは飛行機で1時間半程度と、東京や北海道

へ行くよりも海外が近い立地です。

滑走路1本の空港では全国でも最も離発着が多い福岡空港は、都心から地下鉄で10分程度。新幹線や私鉄（電車・バス）、高速道路もアクセスがよく、交通の便はとっても充実しています。

福岡は食に恵まれているところです。食材は地元産だけでなく九州各地の美味しい食材も集まってきます。特に魚は玄界灘や長崎方面からの豊富で新鮮な魚が安く・美味しく食べられます。

都心界隈は商業施設が充実し、週末には大変な人で混雑しますが、車で30分から1時間も走れば、自然豊かな山や海がすぐそこにあります。

福岡を一言でいえば「適当に都会で、適当に田舎」だといえます。

生活するには大変いいところです。是非美味しい料理と豊かな自然を満喫しに福岡（博多）へおいで下さい。

OBのみなさんは今も山へ行かれていますか？私は残念ながら息子（現在中学生）が生まれてからは山はご無沙汰しています。以前は毎年、夏は「穂高」、正月は九州の山で初日の出と、結構精力的に山へ行っていました。

最近はまだ登山ブームのようですね。是非若い人たちに山の良さを知ってもらいたいものです。

福岡にはあまり有名な山はありませんが、九州を見渡すと魅力的な山がたくさんあります。

- －手軽に行けて九州では根強い人気の「久住連山」
- －山深く本格的な縦走ができる「祖母・傾」
- －下山後の温泉と焼酎が楽しみな「高千穂・霧島連山」
- －世界自然遺産屋久島の「宮之浦岳」などなど。

みなさんはどこか行かれたことはありますか？是非魅力的な九州の山々にも足を運んで下さい。

私の同期（24期）は、総勢24名です。当時の部員は全体で約100名近くも在籍していました。今では想像もできない大所帯で、新入生のころは先輩の名前を覚えるのに一苦労でした。今は逆に部員を集めるのに苦労しているようですね。

数年前に同期全員に声を掛けて湯田で同期会を開催し、懐かしい仲間が集まりました。しかし福岡在住の同期がいないこともあり、なかなか会える機会がありません。昨年はオッチェンだけで集まりましたので、次回はまた全員で同期会をやるのかなと考えています。24期のみんな元気ですか？また集まろうね。

家内の実家が宇部なので、帰省の際に時々足を伸ばして、山口へも行っていま

す。山大や学生時代に住んでいた一の坂川界限、榎野川河原から望む鳳翻など、いつ行ってもまだ昔のなごりがあり懐かしく思ってます。山口に行くと心が和みますね。

なんだか思いつくままに書いてみましたが、いかがだったでしょうか？
またいつか福岡でOB総会が開催される時には、是非おいで下さい。お待ちしております。それでは皆さん、益々ご健康でご活躍下さい。

第3章

現役活動報告

1 執行部近況報告

本部 第50期主将 菊池武臣

今年の係

菊池武臣：主将・渉外・気象・会計・オッチェントレーナー

荻伸一郎：副将・主務・装備・山行技術

馬屋原範聡：記録図書

中野歩：衛生・メッチェントレーナー

今年の部員

4年0人3年2(0)人2年2(1)人1年6(4)人中()はメッチェン

経済2年1(1)人1年1(0)人、理3年2(0)人1年1人(0)農2年1(0)人1年4(4)人

どうもはじめまして今季の主将を務めさせていただいております本学理学部3回生3年の菊池武臣です。

今年は新入生が自分の知る限りで最高の6人入りました。しかも僕の知る限りで初めてとなるメッチェンの人数がオッチェンより多いです。去年は全員で3人(一人退部したため現在は2人)内メッチェンは1人であったため、今年の全部で6人うちメッチェン4人という数字は大躍進かと思われます。その点では去年の目標を達成できたのではないのでしょうか。

本学は現在4年0人3年2(0)人2年2(1)人1年6(4)人で現在活動をしていて、去年までは4年生が主将、副将を務めていましたが、本年からは自分たち3年が例年通り主将、副将として部を引っ張っていきたいと思います。今年は去年よりも積極的に新入生の勧誘を行い、結果として成功したと思います。その背景には新入生歓迎フェスティバルにおける山口県立大学のワンダーフォーゲル部部員の方、本学現役OBの清水和也先輩のご助力が大きかったと思います。この場を借りてお礼を述べさせていただきます。今年の1年生には高校での登山経験者があり、こちらが教えるだけでなくこちらが教わるといったこともあります。そういった点はワンゲルの発展知識の充実のために必要な点だと思うので大事にして先輩後輩のけじめをつけつつも一体感を持った部活動を目指していきたいと思います。

現在活動としては普段は週3(月水金)でトレーニングをしています。また、大学近くの東鳳山に1年生を連れていったところ「思ったよりもきれいで感動した」「写真だけじゃ伝

わらないすごさがある」といった感想を得ることができました。これからもっと高い山に登ることもあり危険やつらいこともいっぱいあると思いますが、是非登頂した時の感動を忘れずに楽しくワングル生活を送ってもらいたいと思います。主な活動として、5月のゴールデンウィークには県合を行い、8月末には夏合宿を行う予定です。

2 執行部近況報告

工学部 第48期主将 清水彬行

前年度に引き続き、第48期の主将を務めさせていただいております、工学部循環環境工学科4年の清水彬行です。

工学部は現在、4年1名で活動しています。4年で研究が忙しいため、トレーニングの時間がなかなか取れない状況ですが、時間を見つけて定期的にやっています。1人でトレーニングをしているので、練習メニューは限られてしまっていますが、最近、ロッククライミングができる施設を見つけ、時間があるときは練習1つのメニューとして取りいれて行っています。ロッククライミングは2週間に1回できるように心掛けています。

今年も新入生獲得のために本学で勧誘活動を行い、また、工学部で2、3年生獲得のために勧誘活動を行いました。さらに、同じ学科の後輩を勧誘したのですが、工学部部員を獲得することができませんでした。この危機的状況を改善するためにも、本学の1年生に工学部の友達をワングルに入部してもらうように勧めたりしています。

工学部ワングルをなくさないようこれからもできる限り勧誘活動を続けていき、どうすればワングルに入部してくれるのか考え、いい考えが浮かべばそれを実行できるように少しでも努力すべきです。

3 春合宿結果報告

責任者 菊池武臣

5泊6日で鹿児島県の宝島にてサバイバルを行う予定でしたが、主将菊池武臣の日程調整ミスによって行くことができませんでした。

4 2010年度 第46回県内合同ワンデリング結果報告

実行委員長 菊池武臣

今年の県合は5月のGWに東鳳翻山ふもとの一の坂ダム公園にて2泊3日で行いました。内容としては、参加者を6人と6人の2パーティーに分けて、1日目開会式、設営、タエッセン、飲み。2日目東鳳翻山登頂、レク、タエッセン、肝試し、飲み。3日目閉会式、撤収。2日目のレクではタエッセンをかけてパーティー対抗で行いました。肝試しは萩往還を21

世紀の森駐車場まで徒歩で歩くというもので、実際に一人で暗いなか歩けばこわかったと思います。最終日閉会式後には記念品の T シャツにそれぞれメッセージを書き込みメッセージ交換としました。開催地の使用条件が火の使用禁止であったためファイヤーは行うことができず、代わりにその時間は肝試しとして使用しました。例年のものより、どちらかというとレクリエーション色の強いものとなったと思います。

最後に、開催するにあたって実行委員の皆さん、様々な助言をしてくださった先輩方、お忙しい中お越しいただいた OB の方々本当にありがとうございました。

5 夏合宿紹介

責任者 菊池武臣

このたび、夏合宿の計画者となりました本学 3 回生 3 年の菊池武臣です。今年は工学部最後の一人だった清水彬行先輩も引退されてしまいました。そのため、久々の本学のみでの夏合宿となります。自分は今まで大きな登山経験がないので不安も大きいですが、現役として参加できる最後の合宿(予定)、去年は自分のインフルエンザ、おとしは悪天候等の理由によって成功していない夏合宿を今年こそは白馬岳に登ることで達成したいと思います。コースは去年と同じく猿倉から白馬鎗ヶ岳、杓子岳、白馬岳、小蓮華山、乗鞍岳、榑池自然園の 3 泊 4 日を予定しています。理由としては自然豊かな北アルプスを堪能でき、また、温泉もあるのでそこも楽しみなポイントでもあります。今年は登山初心者も多いので特に気をつけて事故の起こらないよう楽しい夏合宿になることを目指してやっていきたいです。

6 アフター紹介

責任者 馬屋原範聡

今回アフターの PL を務めさせていただきます馬屋原と申します。今年のアフターでは、北アルプスの中でも有名な剣岳に登ります。夏合宿では北アルプスの白馬へ登りますが、私は白馬だけではもったいないと感じています。そこで、昨年 6 月には『劔岳 点の記』として映画の舞台にもなった劔岳を 2 年生以上が参加するアフターで登ろうと決めました。山道には岩場が多く危険であり、他の登山者の方も多いため日ごろの登山とは全く異なる経験ができると思っています。

■AP

アプローチでは、夏合宿終了後電車で信濃大町駅まで行きます。ここから路線バスとトロリーバス、ケーブルカー、ロープウェイを乗り継いで室堂へ行きここでまず 1 泊します。

■1 日目

1 日目は室堂から剣山荘まで行きます。標高 2450m からのスタートです。硫黄臭漂う地獄谷を進んでいき、雷鳥平を通って標高差が 450m 以上の雷鳥坂を登っていきます。ここ

では 2 時間ほど登りが続き、足場が砂礫のため不安定です。雷鳥を見かけることもあるので慎重に進んでいきたいと思います。登りきると目的地の劔岳はもちろん別山、大日岳、大汝山を一望できる快適な山道になります。余裕をもちながら進める道なので景色を満喫しながら劔山荘に向かいます。1 日目はここで泊ります。

■2 日目

2 日目は劔山荘を朝早くに出発します。劔岳は人気が高いので、早朝に出発することで少しでも混雑を避けていきます。ここからは劔岳の醍醐味と言える岩場が本格化します。前劔まで進むと、鎖場が連続しているので集中力をきらさないように慎重に進んでいきます。そうこうしていると、劔岳最大の難所であるカニのタテヨコバイに到着です。10m を越える垂直な登りの鎖場もあり、カニのように横ばいしていきます。ここを越えるとついに山頂です。劔岳山頂は狭いのであまりゆっくりはできないでしょうが、劔の先端に立った際の景色は行程の厳しさも相まって一生ものになると思います。あとは、来た道を折り返して帰ります。

第4章

その他

1 Y.U.W.V.ホームページ

山口大学ワンダーフォーゲル部のホームページをご紹介します。OB通信(カラー版)も掲載しているので是非ご覧ください。

Y.U.W.V.ホームページ

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tabidori/>

2 編集後記

編集 清水彬行

卒業研究、前期試験、大学院入試の中、OB通信の編集作業をやらせていただきました。先輩たちがやってきているので、同じように簡単にできると思っていたのですが、大変でした。時間はかかってしまいましたが、1つの仕事をやり遂げていい経験となりました。

今年は6人の部員が入部してくれてよかったですと思いますが、工学部の新入生が入ってくれなかったことはとても残念でこのままでは廃部となってしまいます。自分が工学部でもあるので、なんとか部員を獲得できるよう努力していかなければなりません。今までとは違い、別の勧誘方法を考える必要があります。

部員が少なくても誰でも交流ができて、絆が深まるなどという良い面もありますが、人数が少ないために行事を運営することができない、係が一人に二つ以上あるなどの負担が増えてしまうなどという悪い面もあります。今いるワンゲル部員にはワンゲルを最後まで続けて欲しいと思っています。県内ワンゲル、OBの方々と協力してワンゲルを楽しく盛り上げてくれることを期待しています。